

| | | | | |
|-----------|----------|---------|--------|--------|
| 開講科目名 | 日本語読解中級B | | | |
| 成績入力担当 | 川島 信恵 | 開講区分 | | 単位数 |
| | | 第2クォーター | | 0.0単位 |
| ナンバリングコード | R1IG050 | 曜日・時限等 | 木3(対面) | 時間割コード |

授業のテーマ

中級レベルの読解力の育成を図る。

授業の到達目標

1. 優れたエッセイや評論を読む。
2. 読解のための知識と批判的読みの力をつける。

授業の概要と計画

中級読解クラスは各クォーターでテキストの3課～4課分を学習する予定である。また、教科書のほかに、関連した読み物を授業で取り上げる場合がある。

シラバスはクラスの状態によって変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

毎回課題があるので、必ずやってくること。

授業のスケジュールは以下の通り。

第1回 6/11 ガイダンス、5課 ロボットとの付き合い方、おしえます

第2回 6/18 8課 モードが違う

第3回 6/25 8課 モードが違う、9課 アマゾンの魚がとれた！

第4回 7/2 9課 アマゾンの魚がとれた！

第5回 7/9 10課 笑わなくていい

第6回 7/16 10課 笑わなくていい

第7回 7/23 復習、試験

第8回 7/30 復習

週1回 全8週

1科目15時間

各回の内容は状況によって変更になる可能性もある。

成績評価方法

授業活動及び授業参加度、最終試験で評価する。

1. 授業活動及び授業参加度 20%

2. 課題 20%

3. 最終試験 60%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

成績評価基準

1. 授業活動及び授業参加度: 授業内で提示する練習、タスクに取り組んでいるか。

2. 課題: 毎回課される宿題にきちんと取り組み、期日までに提出しているか。

3. 最終試験

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

中級レベルの読解能力を伸ばしたい学生を対象とする。

J-CAT:171-220

交換留学生（特別聴講学生）履修可

関連科目情報：

「日本語作文中級B」を同時に履修することが望ましい。

「日本語読解中級A」を事前に履修することが望ましい。

事前・事後学修

1. 単語の意味を調べる。
2. 課題に取り組む。課題は期日までにBEEFで提出すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。

メールアドレス：kawasimanobue [AT]hotmail.com

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @（半角）に置き換えた上で宛先に入力。

学生へのメッセージ

1. 教科書を各自で用意すること。
2. 授業で意見を述べるようにしましょう。

今年度の工夫

グループワークを取り入れる。

教科書

『話す・書くにつながる！ 日本語読解 初中級』 / 小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり：アルク，2018，ISBN:978-4-7574-3085-3

参考書・参考資料等

日本語総まとめ N2 読解（「日本語能力試験」対策） / 佐々木 仁子，松本 紀子：アスク，2010，ISBN:9784872177640

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語、読解、中級、交換留学生（特別聴講学生）可、